平成30年度第1回 学校評議員会の実施報告

学校名 岐阜県立揖斐特別支援学校
校長 多和田 浩一
所在地 揖斐郡揖斐川町谷汲深坂2760 電話 0585-56-0050

1 会議の名称

岐阜県立揖斐特別支援学校 学校評議員会

2 会議の構成

学校評議員（敬称略）

村瀬 克己	谷汲公民館館長
嵯峨崎 泰輔	株式会社サン・シング東海
立木 一美	J A岐阜厚生連 揖斐厚生病院 主任言語聴覚士（欠席）
古野 幸博	谷汲地区民生委員副支部長
岩井 順子	揖斐川町手をつなぐ親の会

【学 校】

多和田浩一	（校長）	木下 香居	（PTA会長）
高木 秀樹	（教 頭）	早坂 英主	（小学部主事）
河合 均	（中学部主事）	森 敦士	（高等部主事）
由井真紀子	（教務主任）		
杉山 茂樹	（事務長）		

3 会議の目的

学校運営等について関係諸機関や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会から支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 開催期日と内容

第1回 平成30年6月7日（木） 「授業参観と学校への提言について」

5 会議の概要

(1) はじめに

- ・校長挨拶
- ・委嘱書の交付
- ・自己紹介
- ・本日の日程説明

(2) 授業参観および施設見学

(3) 今年度の取組について

(4) 意見交換

(5) 事務連絡

高等部作業製品について
学校関係者評価について
第2回学校評議員会の期日について

6 今年度の取組について

- (1) 学校全体の取組
地域に開かれた学校作りについて
個々に応じた支援体制について
- (2) 小学部の取組
小学部の願う姿について
地域での活動について
- (3) 中学部の取組
中学部として願う姿
高等部を見据えた作業学習のあり方について
- (4) 高等部の取組
高等部として願う姿
個々の興味やもてる力の伸張を目指す作業学習のあり方について

7 意見交換

- (1) 授業の様子から
 - ・全体的に落ち着いて取り組んでいる。特に教室に大勢の生徒が集まって授業を行っていたが落ち着いて取り組んでいる。
 - ・若い先生が多く、子ども達と一緒に取り組んでいる姿が良い。
 - ・先生方の接する態度が良い。また、生徒の能力に適した仕事を担当させている。
 - ・作業しやすい環境が整っており、先生方の工夫がされている。
 - ・小学生の子が歌と一緒に歌ってくださいと頼まれたとき、最初本人は恥ずかしそうだったが、歌い終わった後の笑顔がとても良かった。
 - ・エレベーターが自由に使えるのではないかと心配である。
- (2) 特別支援学校との関わりについて
 - ・世間の人は障がい児に触れる機会がない。実態が分からないのでどうやって関わっていくのかが分からないのが現状である。
 - ・地域は何を協力するのか分からないので、どんな協力ができるのか教えてほしい。
 - ・他学部の授業を参観する機会がほとんどないので、もっと授業参観を増やしてほしい。
- (3) 将来について
 - ・社会に出てからがどうなるか不安である。卒業後、地域に戻ったときに周りの狭い世界に理解を得られるようにしてもらわないといけない。
 - ・社会に出ると挨拶は必ず必要である。現在の現場実習生はしっかり挨拶ができています。
 - ・働いている姿を見ると、障がい者としてハンディはあるが、ひたむきさを感じる。しかし、仕事の手抜きなどにはきちんと叱っている。そこでへこたれない強い精神力を身につけていることが大切である。
 - ・障がい者は自分が認められないことをすごく気にしている。しかし、不満など本音を聞いてあげることで、信頼関係を築くことができる。
 - ・人が休んだときに自分はどんなことをしなければならないのかを理解し、行動できる人間になってほしい。

以上のことについて、

- ・エレベーターは特に医療的ケアが必要な生徒については、看護師が必ずつくようにしている。また、小学部等エレベーターを使わず、必ず教員がついて階段を利用するようにしている。
- ・挨拶についてはその必要性を示し、特に指導を強化している。
- ・地域との関わりは設立当初の39名の時は、タケノコ取りなど誘ってもらってもスムーズに行動できたが、規模が大きくなり、教育課程に基づく授業を進める中で自由度がなくなってきた。どのような関わり方があるか検討していかななくてはならない。
- ・廊下にロッカーがあり、消防署から指導を受けている。理科室がなくて十分な実験もできない。施設が収容数に追いついていない。狭い教室での学習を余儀なくされる状態である。

8 事務連絡

- ・ 次回の学校評議員会について
2月7日（木）授業参観及び学校関係者評価について

9 会議のまとめ

2名の新しい学校評議員の方をお迎えし、新しい目線で学校を見ていただいた。おおむね学校の教育活動についてはご理解をいただけたと感じている。しかし、地域との関わり方については、どのように協力していけばいいのか悩んでおられるというご意見をいただいた。いただいた意見・感想等を生かして、今後も教職員が一丸となって、教育活動に取り組んでいきたい。